

令和4年度第1回高砂市地球温暖化対策地域協議会 会議要旨

出席者	【委員】松本会長、金谷委員、糟谷委員、赤堀委員、紙谷委員、松谷委員、濱田委員、埴岡委員、大西委員、五反田委員、池部委員、中嶋委員、濱田委員、竹内委員（web参加）、吉田委員、山本委員（web参加） 【事務局】生活環境部環境経済室環境政策課 【委託業者】国際航業㈱	日 時	令和4年6月30日（木） 14時～16時
		場 所	ユーアイ帆っとセンター 交流スペース7
配布資料	会議次第 【資料1】 委員名簿 【資料2】 高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱 【資料3-1】 国地球温暖化対策計画概要 【資料3-2】 政府地球温暖化対策実行計画概要 【資料3-3】 兵庫県地球温暖化対策推進計画概要 【別冊】 高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版 【資料4】 高砂市地球温暖化対策実行計画の進捗状況 【資料5】 地球温暖化防止に関する市民・事業所アンケート調査概要 【資料6】 地球温暖化防止に関する市民アンケート調査票（案） 【資料7】 地球温暖化防止に関する事業所アンケート調査票（案） 【資料8】 第2次高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂（兼高砂市再生可能エネルギー導入計画策定）スケジュール		
議事内容			
1. 会長挨拶 2. 委員自己紹介 3. 会議の公開について 4. 国・県における温室効果ガス削減にかかる目標設定について （事務局） （会長） （事務局） （会長） （事務局） （委員） （事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長より開会挨拶 ・本日の会議は高砂市地球温暖化対策地域協議会設置要綱に基づき公開するものとする。 ・資料3-1～資料4に基づき、説明する。 ・資料3-1にある業務その他部門というのは、高砂市内でいえば、高砂市役所もそれに該当することよいか。 ・そのとおりである。 ・資料3-1では削減目標値が46%、資料3-2では50%と記載があるが、この数値の違いはなにか。 ・資料3-1は国が示した地球温暖化対策計画の削減目標値。資料3-2は政府実行計画（政府の事務事業に基づく計画）の削減目標値。国が2050年カーボンニュートラルを表明したことを受け、令和3年10月に見直された。政府実行計画は国の地球温暖化対策計画に基づき取り組むものであり、高砂市においても国、政府、県の計画を参照していくこととなる。 ・資料4でエネルギー転換・産業部門で10.1%削減しているが、これまでに市役所としてどんな取組をしているのか。 ・高砂市役所独自の取組は行っていない。大規模排出業者が参画している協議会において、事業者の独自の取組をヒアリングし、更なる取組の強化をお願いしている。 		

<p>5. 高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改訂に伴う市民アンケート調査票について</p>	
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 5～資料 6 に基づき、説明する。
<p>（委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 18 で電気契約について問われているが、ガスも小売全面自由化になっているが、ガスについても同様の設問はないのか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針は今後どのように電力を調達するかにスポットを当てた施策が多くなっている。今回はグリーン電力への切り替えの可能性を把握したいため、ガスについては設問を設けていない。
<p>（会長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源や供給力を持っていない小売事業者もあると思うが、その場合契約先を聞くことにどのような意味があるのか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生まれた再生電力を地域内でまかなうという地産地消の取組を国が推奨している。地域新電力が設立された場合、自宅で使用する電力を再生電力に切り替えてもらうために、切り替える際の課題等について把握したい。契約先までは聞いていない。
<p>（委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気をグリーン電力にするだけでは目標達成は無理なのではないか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在大阪ガスがメタネーション技術を開発し、クリーンなガス供給に取り組んでいる。例えば冷房時などはガスの方が直接電気の供給を受けるより効率的という話もある。電気だけにスポットを当てれば脱炭素化が図れるというわけではない。ただ、このアンケートについては集計（把握）したい項目とそれに関連付けた再生可能エネルギー利用意向等を紐付けて分析する上で、あまりメリットが見られないエネルギー源については、設問から省いた内容になっている。
<p>（委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートを実施することと、脱炭素の目的達成とがどのように繋がっていくのか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国が地理的条件をもとに計算しているソフト（環境省 REPOS）では、高砂市の再生可能エネルギーのポテンシャルは、ほぼ太陽光発電のみとなっており、今回策定する再生可能エネルギー導入計画では、太陽光発電における施策を重点的に行い、高砂市のCO2排出量を減らすことになる。そのため、このアンケートで太陽光発電電力をどれだけ市民の方に導入してもらえる可能性があるかを把握したい。支援も含めた再生導入のための助成についての質問も加え、率直な意見を伺いたいと思っている。
<p>（会長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力発電について、先ほど高砂火力発電は稼働停止となり、太陽光発電では限度があり、風力発電も難しいことから、原子力発電を項目に加えてはどうか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回策定する再生可能エネルギー導入計画は原子力という部分に関して高砂市独自で取り組むことができないため、太陽光を重点とした計画を策定したいと考えている。そのため、高砂市域の中でどれだけ再生可能エネルギーを創り出し、活用できるポテンシャルがあるかを把握したい。調達する電力会社のエネルギー源については、今回の主旨とは異なる。
<p>（委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートではエネルギーを作り出すという内容が多い。住宅の省エネ（断熱やリフォーム等）も市民のニーズがわかるため設問に加えてはどうか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設問を見直し、家の断熱効果を高める取組についても設問に加えるよう再考する。
<p>（会長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 1 の世帯主の年齢について、数字が続くのでわかりにくい。選択番号を数字ではなくアルファベット等にした方がよいのでは。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修正する。
<p>（会長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート対象に中高生を含めたらどうか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートとは別に中学校などへの協力を検討したい。
<p>（会長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 2 の選択肢に「地域や家族」を追加してはどうか。
<p>（事務局）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友人・知人・家族の選択肢を追加する。

(会長)	・問 7 COOL CHOICE (クールチョイス) という言葉はみんな知っているのか。知らないのであればこれだけのスペースを取る必要があるか。
(事務局)	・COOL CHOICE は知らない人が多いと思う。もう一度検討して設問のボリュームを減らすように見直す。
(会長)	・問 4 カーボンニュートラル等についても正しく説明したほうが良い。
(事務局)	・なるべくわかりやすい説明に見直す。
(委員)	・問 9 で「3R」とあるが、書くのであればこれも詳しい説明をつけたほうが良い。
(事務局)	・「3R」は文中削除する。
6. 高砂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改訂に伴う事業者アンケート調査票について	
(事務局)	・資料 7 に基づき、説明する。
(会長)	・誰が回答したかは聞かないのか。
(事務局)	・業種と従業員数だけを聞く。
(会長)	・問 9 ゼロカーボン宣言を知っているかの設問の場所がおかしい。
(事務局)	・「2.地球温暖化問題の意識について」の設問に移動する。
(会長)	・事業所に対して気候変動への適応を質問する意図はなにか。
(委託業者)	・今年度、再生可能エネルギー導入計画と合わせて、高砂市の地球温暖化対策実行計画を策定する。その中で、気候変動についての内容についてもその計画に盛り込みたいと考えており、事業者の方の気候変動に対する適応の内容を吸い上げる目的で設問として加えた。
(会長)	・気候変動の適応は事業者だけに聞いているが、事業者に限定した意図はあるのか。
(委託業者)	・確認する。
(会長)	・問 12 で、気候変動の影響で困ること、心配することは何かと聞くのは意味があると思う。しかし問 11 の防災訓練が気候変動への適応に入っていると災害が起きるのはしかたがないと思ってしまうかも。防災は防ぐという意味なので誤解されるのではないか。
(事務局)	・「3.気候変動への適応について」について精査し、削除できるようなら削除し、必要なデータがあるのならそれにスポットを当てた設問になるよう、わかりやすい質問となるように再考する。
(委員)	・適応について緩和策があっても気候変動の悪影響がでてくるところがあるので、適応策がどのように意識されているかということを知るのは意味があるのかなと思う。その部分でいうと、事業所に聞く部分なので調達先リスク等、リスクマネジメントについても設問に加えてはどうか。また、各事業所は事業所内の地球温暖化対策についての計画を作成しているのか。作成している場合は、目標数値などが把握できればと思う。
(事務局)	・大規模排出事業者の場合は作成している場合が多い。
(委員)	・事業所の立場で言うと、今の全体の話は車の両輪のような関係の話。対策は片方の車輪。もう一つは現在進行形で起こっている色々な事象に対してどう対応するかというもの。当然最悪のシナリオを考えるのは企業としては当然のこと。全国で水害が起こっている。高砂市でもそのような事象が起こったときに、どう対応して危険なものなどを場外に漏洩しない、流出しないなどの最悪のシナリオを考えるという位置づけて緩和策等を考えている。
(事務局)	・今回アンケートを送る 200 社の中に大規模排出事業者がないことから、事業所として気候変動への適応などに関する計画を持っている事業所はないと思う。指摘された調達先のリスクマネジメントについては設問の中に加えていきたいと思う。先ほどの意見も含めて設問の内容がわかりにくいので、必要なデータのみを把握するように設問の数も精査する。
(会長)	・アンケートの配布時期を遅らすことはできないのか。
(事務局)	・スケジュール的に 7 月末までにアンケートを回収しないと、その後のアンケートの集計分析作業が非常に厳しくなってくる。そのため、アンケートは 7 月上旬には配布したい。委員の方からの意見を反映し、見直したアンケートについては、会長と相談したうえで送付する。事後報告になるが、委員の方には修正内容を報告する形で進めていきたい。
(会長)	・了承。

<p>(委員) (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹や、森や林を作れという提案について、対策はどうなっているのか。 ・高砂市は緑の基本計画という計画がある。その計画に沿った形で進められている。交通事故などの安全を踏まえて、道路の低木は住民の意見も聞いたうえで伐採している事例はある。それ以外の壁面緑化や公園の森林、北側の山手は低木の伐採や二酸化炭素の吸収に寄与するような森林整備は別途進めている。
<p>7. 今後のスケジュールについて (事務局) (委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8 に基づき、説明する。 ・前回の協議会に出席の際は、再生可能エネルギー導入計画は補助申請をする予定だと聞いている。補助金が獲得できなくても計画は作りますという説明だった。高砂市としては地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定と同時に進めていくため、今日の議論やアンケートの中でも、省エネ対策と再生可能エネルギーの設問が両方載せられていると思う。このスケジュールは、実行計画なり、再生可能エネルギーの導入計画が合冊されたものが出てくるのか、あるいは仮に国庫で報告することならば再生可能エネルギーに特化したものが必要になってくるのではないかと思う。国庫の採択状況含めて、実行計画と再生可能エネルギー導入計画の関係はどうなっているのか。
<p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫の申請については現在申請中。採択が遅くとも7月下旬に結果がわかると思っている。計画自体は再生可能エネルギー導入計画兼地球温暖化対策実行計画区域施策編という形で合冊したものの策定を予定している。国庫補助の対象として合冊では認められないということではなく、本年度は必要と認められる部分については合冊した計画でも補助対象となると認識している。